豚と猪

夢野久作

青空文庫

豚が猪に向って自慢をしました。

「私ぐらい結構な身分はない。食べる事から寝る事まですっかり人間に世話をして貰って、御馳走はイヤと言う程たべるからこんなにふとっている。ひとと喧嘩をしなくてもいいから牙なんぞは入り用がない。私とお前さんとは親類だそうだが、おなじ親類でもこんなに身分が違うものか」

猪はこれを聞くと笑いました。

「人間と言うものはただでいつまでも御馳走を食わせて置くような親切なものじゃないよ。ひとの厄介になって威張るものは今にきっと罰が当るから見ておいで」

猪の言った事はとうとう本当になりました。豚は間もなく人間に殺されて食われてしまいました。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集7」三一書房
1970（昭和45）年1月31日第1版第1刷発行
1992（平成4）年2月29日第1版第12刷発行
初出：「九州日報」
1923（大正12）年11月2日
※底本の解題によれば、初出時の署名は「土原耕作」です。
入力：川山隆
校正：土屋隆
2007年7月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

豚と猪

夢野久作

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/